

姉妹都市・つがる市が本町訪問 大塩町長と倉光市長ら 一層の友好関係を誓う



和やかに懇談する倉光つがる市長（左列手前）と大塩町長ら

青森県つがる市は平成17年、白老町の姉妹都市・森田村を含む近隣4町村が合併し誕生。白老町は新たに同市と姉妹都市協定を結び、ご縁が続いています。

このほど来町したのは倉光弘昭市長、木村吉博市議会議長をはじめ、総務、経済両部長と姉妹都市協会の関係者。大塩英男町長と安藤尚志教育長、大黒克己副町長、広地紀彰町議会副議長らが歓迎しました。

懇談はお互いの近況報告や訪問翌日に本町で開催される「つがる市特産品即売フェア」の話題など和やかな雰

囲気が進み、「姉妹都市交流の堅持を」（倉光市長）、「ぜひ子どもたちの交流を」（大塩町長）と、一層の友好を誓い合っていました。（12月1日）

80人が親睦を深め、白老の発展願う 令和5年度東京白老会総会・懇親会



東京都千代田区の全国町村会館で開催されました。懇親会では白老にゆかりある関東圏の会員や橋本聖子同会会長、大塩英男町長、来賓らが立食形式で情報交換を進めるなど和やかに歓談。大塩町長は昨年7月に開業3周年を迎え、9月には来場者100万人を超えたウポポイや、令和7年5月開院を目指す町立病院、令和6年には町制施行70周年を迎える



ことなど近況を報告。さまざまな方面からの支援、協力を呼びかけました。会場では白老牛やタラコなど白老の特産品が当たる抽選会などが行われ、にぎやかな会となっていました。（11月20日）

白老青年会議所 2024年度新体制に 起死回生～常識を覆す組織改革～スローガンに

新理事長に道見翔太さん（37）（道南総合土建(株)代表取締役副社長）＝写真中央＝が就任しました。「まずは会員の拡大を図りたい。雰囲気的に楽しさや参加のしやすさなどをアピールし呼び起こしたい」と抱負を話していました。まちづくりへの参画は「白老の魅力を存分に生かした何かに取り組みたい」と話していました。大塩英男町長も「令和6年には町も70周年を迎えますが、皆さんの意見をちょうだいするなど若い力をお借りしたい」と期待していました。（11月28日）



白老町商工会 令和6年度商工業振興に関する要望 「白老牛肉まつり」「白老町道の駅」などにぎわい創出による地域活性化を



熊谷威二会長ら役員が役場を訪れ、「商工会、行政、町民が一体となって取り組んでいかなければならない」と、地域経済の活性化と福祉の増進、事業者への支援拡充4分野13項目の要望書を大塩英男町長に手渡しました。

「まちづくりの推進および定住人口の拡大」では、妊娠・出産期、子育て期の家庭に対するサポートや公園の整備を提言し、町内はもとより、町外の子育て世帯の購買力を町内に取り組む事業や人の流れを誘導する魅力あるまちづくりを提言。「にぎわい創出による地域活性化」では、「白老牛肉まつり」の再開や、周遊する観光客の増加を目指した「白老町道の駅」の整備を要望。道の駅は地域活性化に多大な貢献が期待できる、としました。

大塩町長は、一つ一つに現状、方針を示しながら「要望をしっかりと受け止め、子育て事業の展開をはじめ、（商工会と）タッグを組んでまちの活性化を進めたい」と応じていました。（11月29日）